

と し よ か ん

石狩市民図書館
石狩市花川北7条1丁目26番地

開館時間

火・金 10:00~18:00
水・木 10:00~20:00
土日祝 10:00~17:00
分館 10:00~17:00

通 信

ホームページ: <http://www.ishikari-lib-unet.ocn.ne.jp/>
Eメール: ishikari-lib@mail.ishikari-lib-unet.ocn.ne.jp

♪ 今月のビデオ上映会 & CDコンサート ♪ — フルトヴェングラー特集 —

4月から続いた三大指揮者特集の最後はフルトヴェングラーです。その生涯を描いたビデオの上映と、代表盤ベートーヴェンの第9交響曲のCDコンサートです。

■ 6月20日(日) ビデオ上映会

「フルトヴェングラー その生涯の秘密」

フルトヴェングラーの生涯をたどるドキュメンタリーとフルトヴェングラー自身の演奏によるビデオです。後半はワーグナーのマイスタージンガー前奏曲や、ベートーヴェンの第9交響曲など、フルトヴェングラー自身が指揮する姿を貴重な映像で見ることができます。



■ 6月26日(土) CDコンサート

ベートーヴェン交響曲第9ニ短調作品125「合唱」 パイロイト祝祭管弦楽団・合唱団 1951年ライブ録音

フルトヴェングラーにとって、そして、ベートーヴェンにとっても代表盤といえる、有名なパイロイトの第9です。録音から50年以上たった今も色あせることのない名演です。

● 休館日のお知らせ(全館) ●

月曜日 6月7、14、21、28日
図書整理日 6月25日(金)

● 図書特別整理期間のお知らせ ●

平成16年6月29日(火)~7月4日(日)

特別図書整理期間につき、本館のみ、上記の期間を休館とさせていただきます。これに伴い、6月15日から29日の期間に貸し出された本の返却日を7月14日とします。

■ 花川北、花川南、八幡分館は通常どおり開館していますが、本館の図書の利用(予約含む)はできません。1週間お待ちください。

■ 本館のブックポストで図書の返却は可能です。(ただしCD、ビデオ、DVD、カセット等は破損の恐れがあるため、入れないでください。分館での返却は可能です)

整理期間中、お客様にはご迷惑をお掛けしますが、ご了承ください。

※図書特別整理期間では、図書館の資料が紛失していないか、あるべきところにあるか、1冊1冊確認・整理をします(5月1日現在147,623点)。毎年1回行ないます。

本のテーマ特集

「あなたの日本語は大丈夫ですか」

日時/5月27日(木) ~6月9日(水)

場所/本館特集コーナー

英語やカタカナ語の氾濫の中で、日本語はどうなってしまうのでしょうか。毎日何気なく使っている言葉をもう一度見直してみませんか。

「旅~ホッカイドウ」

日時/6月12日(土)~20日(日)
場所/本館特集コーナー

旅行やドライブにぴったりの季節になってきました。そこで、映画のロケ地や、石狩の名所、そして自然の多い北海道を再発見できるように本をご紹介します。

男女共同参画推進週間記念特集

『らしさ』について考える

日時/6月23日(水)~27日(日)

場所/本館特集コーナー

「男らしさ」「子どもらしさ」「自分らしさ」…世の中にはたくさんの「らしさ」が溢れています。でも、国が違ったり、時代や立場が変わったら、その意味が違ってくることも…。

「らしさ」っていったい何なのでしょう。

行事のご案内 お問い合わせは図書館まで(☎72-2000)

おはなし会 本館15時~ 花川南11時~ 八幡14時~	5日/19日(土) びっくりばおはなし会(おはなしのたまご) 12日(土) 花川南コミセン和室 13日/27日(日) 本館おはなし会(おはなしのたまご) 26日(土) 八幡コミセン和室
CDコンサート (午後1時~)	12日(土) 「BEST OF TOGISM 風と光の軌跡」東儀秀樹(76分) 26日(土) ベートーヴェン交響曲第9ニ短調作品125「合唱」 指揮/フルトヴェングラー 演奏/パイロイト祝祭管弦楽団(76分)
ビデオ上映会 (午後2時~)	6日(日) こどもビデオ「金色のがちょう」ほか3話(46分) 20日(日) 「フルトヴェングラー その生涯の秘密」(102分)
宮本武蔵を 聴こう会	10日/24日(木) 午後1時~ 会場/研修室1

今月のビデオ&CD



6日(日)
こどもビデオ
「金色のがちょう」
ほか3話
(上映時間46分)
© TDKコア

12日(土)

CDコンサート
「BEST OF TOGISM
風と光の軌跡」
演奏/東儀秀樹



市民レポート

「青年海外協力隊」で2年間、看護師として活動していた鈴木さんが、その派遣先だった南米・エクアドルで過ごした日々を振り返ります。

今月のレポーター 鈴木 絵麻さん



▲オタバロの子どもたち

HOLA! オーラ VOL.2 「エクアドルの女性の権利」

男性優位社会での現実

広報いしかり二月号でも特集されていた「男女共同参画」皆さんどのように感じましたか？私はまだマチスタ(男性優位社会)が残っており、女性の進学・就職率が低く、暴力などの問題がたくさんあります。特に、私の活動先のように現地の民族が住んでいて昔からの伝統・習慣が多く残っているような集落では、顕著にみられます。四月号の市民レポートでも紹介したように、中学校への進学率からもよく分かります。小学校ではクラスに半々の割合で男女がいたのに、中学校になると全体の生徒の数もぐっと減るので、女性は10%ぐらいの割合になります。都心部では小・中・高と日本と同じく進学し、男女差はほとんどありませんが、貧困層のインディヘナが住む村ではほとんどの女子が続けて教育を受けることができませぬ。それはなぜでしょう？

まず、一番は貧困のため、教育費がないということ。多くの子どもを持った家庭では、男の子を優先して学校に行かせて、女の子は家で家事・農作業の手伝いをさせられてしまうのです。二つ目に、なぜ男の子を優先させて学校にいかせるのか？ 女性は早くから、女性は家庭に入るもので

あり、教育・就職は必要ないと考えている両親が多いからです。

女性が意思決定のできる日まで

このような生活環境にいると、女性の地位がとて低く分かります。何かをしたくても夫の許可が必要で、背けば暴力に遭い、意思を貫くことができなくなってしまう。

私はこの村で活動してきて、皆さんの問題と接してきました。まず、未婚者で出産してしまう、いわゆるシングルマザーが非常に多かったことです。避妊に対する知識がないこと、自分の意思を男性に伝えることができないこと、さまざまな要因があつて起こる問題だと思います。また、何度も出産を経験し、育児も大変なので家族計画をしたいと来所する女性がいきましたが、夫には内緒で行いたいと言います。夫に知られると暴力に遭うからです。これには



▲エクアドルの伝統的産婆

カトリック教の教えに背くことになるという宗教的な問題に絡んでいることもあります。ですが、エクアドルは家族計画の手段の一つとしてピルの内服が一般的に行われていますので、女性の中には男性に内緒でピルを内服し、避妊する人もいます。

自分の体のこと、健康のために何かをしたくても男性の許可を得なくてはいけない社会を皆さんどう思いますか？ 宗教的な問題には踏み込むことはできませんが、このような人たちにどのような援助ができるのか？

村の住民はテレビもラジオもない生活をしており、そしてきちんとした教育も受けられていません。新しい情報がとても不足しているのです。私は男性にも正しい知識と、さまざまな情報を与えることだと思っております。村で家族計画・子宮がん検診のお話をするときには、男性にも来てもらえるようにしました。効果はそれほど大きくありませんでしたが、家族計画・子宮がん検診を受ける女性が増えていきました。女性を含めて村の将来について皆で考えたりもしました。住みやすい環境をつくるには、男女が協力して生活していかなければいけません。何年か、何十年かたつて、この村の女性たちがもっと開放的に、自分の意思で何でも決められるようになって、男女が協力し合う村になっていけばいいなあと思います。